本体脚を使用しない場合

● 作業スペースが必要ですので、ご注意ください。

■ 作業は 2 人以上で行ってください。
■ 床が傷つかないよう、本体保護シートの上で行ってください。
■ 接着剤は使用しないでください。
■ 前面のスピーカーネット部に力を加えないでください。

準備する

1 本体を上下逆さにして本体保護シートの合わせ面が上にくるように置く。

2 PP バンドをはさみで切り、クッションを取り外す。

3 テープをはがし本体保護シートを本体に敷いたまま広げる。（床の傷付防止の為、敷いたまま組み立ててください。）

本体　本体保護シートの合わせ面　テープ　PP バンド　クッション

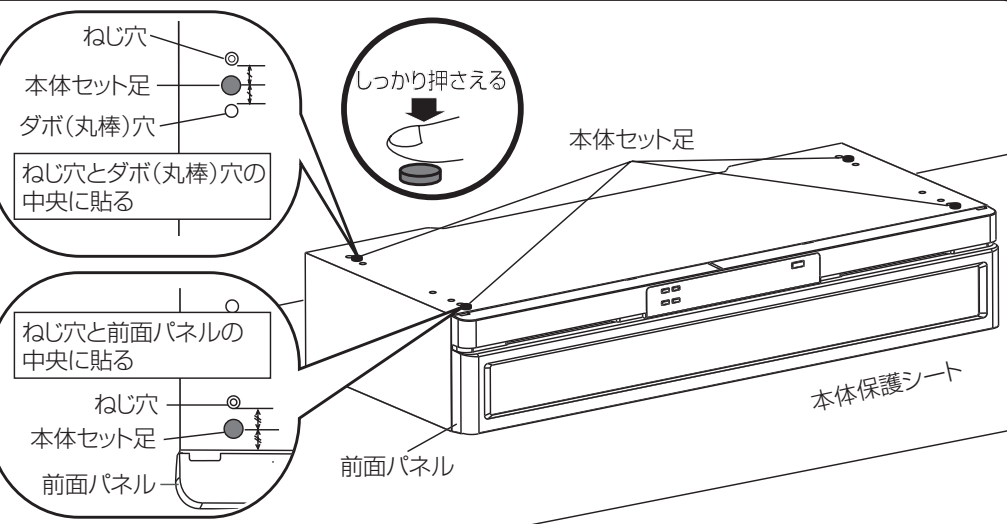
準備するもの

・付属の本体セット足 (4個 1 組)

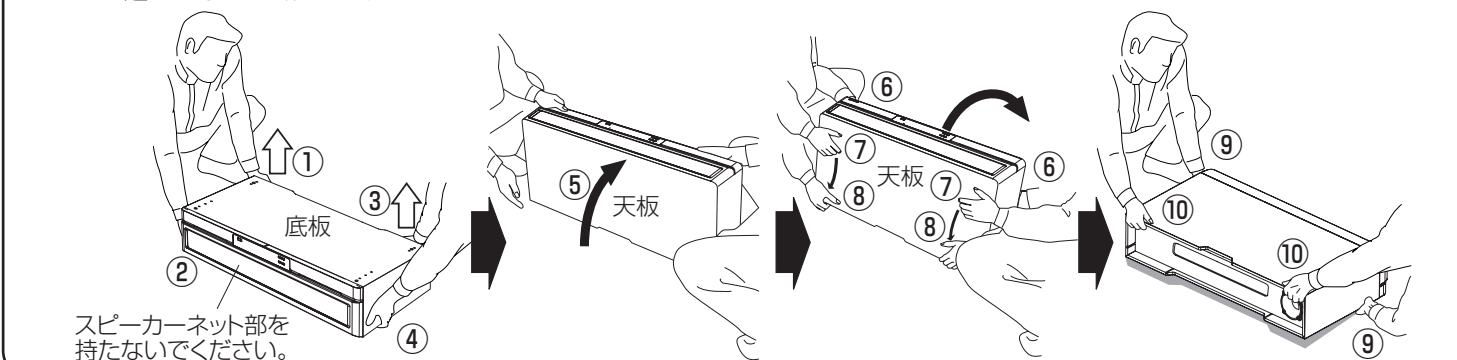
組み立てる

1 本体セット足の貼り付け

1. 本体セット足を貼り付ける部分にごみ、汚れが付いていないことを確認する。（ごみ、汚れが付いている場合は、乾いた柔らかい布できれいにふき取ってください。）
2. 本体セット足をはがして図に示す位置 4 箇所に貼り付け、しっかり押さえてください。（前面パネルにかからないように貼り付けてください。）

●二度貼りしないでください。（一度はがした本体セット足は再使用できません。）

2 ラックを起こす

1. 一人目の人が、ラック後面側の底板を少し持ち上げて（図中①)、ラック前面側の下に指を入れる（図中②)。
2. 反対側の人もラック後面側の底板を少し持ち上げて（図中③)、ラック前面側の下に指を入れる（図中④)。
3. ラックをゆっくりと後面側に起こす（図中⑤)。（前方へは起こさないでください。
4. ラックの側面側から底板部を支えながら（図中⑥）少し傾けて（図中⑦）後面側の天板を持ち（図中⑧)、先に前面側をゆっくりと床に置き（図中⑨)、次に後面側を置く。（図中⑩）

●必ず 2 人以上で行ってください。
●ラックの下に指をはさまないようにご注意ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

必ず組み立て説明書に従って組み立てる

説明書通りに組み立てないで使用した場合、テレビが倒れたり落下して、けがの原因になることがあります。

本体固定ねじは 4 本共しっかりと締め付ける

組み立てた後、隙間やぐらつきがあると、テレビが倒れたり落下して、けがの原因になることがあります。

組み立て途中での使用はしない

組み立て途中で使用した場合、テレビが倒れたり落下して、けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

組み立て・設置時には、指をはさまないように注意する

けがの原因になることがあります。
● 特にお子様にはご注意ください。

部品・付属品の取り出し、組み立ては2人以上で行う

1 人で無理に行うと、腰を痛めたり、けがの原因になることがあります。

縦置きしない

倒れたりしてけがの原因になることがあります。

ラックの組み立て時に、ラック下部の隙間内に足先を入れない

けがの原因となることがあります。

付属の棚板保持部品・転倒防止ねじ・本体セット足は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　–	品番	SC-HTR10
お客様ご相談窓口	☎（　　）　–	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

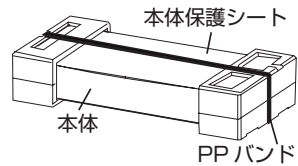
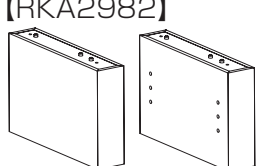
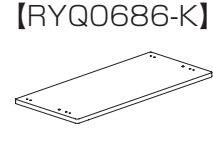
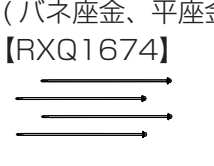
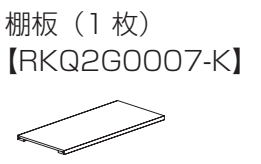
Panasonic®

組み立て説明書

ホームシアターオーディオシステム

品番　SC-HTR10

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

● 組み立て説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● 組み立てる前に **「安全上のご注意」(➜ 裏表紙）を必ずお読みください。**
● 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、組み立て説明書とともに大切に保管してください。
● 取り扱いについては、別冊の取扱説明書をお読みください。

部品・付属品の確認

■ 部品・付属品の取り出しは 2 人以上で行ってください。

1. PP バンドをつかんで本体を取り出す。

●本体保護シートは組み立て時に使用しますので破らないでください。
（本体を巻いた PP バンドは2ページの“準備する”で切ります。）

2. PP バンドで巻いた棚板、本体脚、底板を取り出す。
3. 棚板、本体脚、底板を巻いた PP バンドをはさみで切り部品・付属品を取り出す。
4. クッションから部品・付属品を取り出す。

包装仕様図

本体固定ねじ　クッション　組み立て説明書　取扱説明書　本体　PP バンド　電源コード　転倒防止ねじ　棚板保持部品　本体セット足　リモコン用乾電池（点線部分）　キャスター座　クッション　前面側　棚板　キャスター　リモコン　クッション　底板　クッション　パッド　パッド　本体脚 (左右)　前面側

部品・付属品をご確認ください。

組み立て用部品

□ 本体 (1 台)	□ 本体脚(2 個)(左右共用)【RKA2982】	□ 底板（1 枚）【RYQ0686-K】	□ 本体固定ねじ（4 本）（バネ座金、平座金付）【RXQ1674】
□ 棚板保持部品（4 個）【RMR1897-K】	□ 棚板（1 枚）【RKQ2G0007-K】	□ キャスター（4 個）【RXP0071】	□ 本体セット足 (4 個 1 組)【RKA0208-K】

本体保護シート　本体　PP バンド

設置用部品

□ キャスター座（4 個）【TBLB3008】（➜ 取扱説明書の 9 ページ）	□ 転倒防止ねじ（2 本）【XTW4+15AFJK】（➜ 取扱説明書の 10 ページ）

付属品

□ 電源コード（1 本）【RJA0012-1A】（➜ 取扱説明書の 15 ページ）	□ リモコン（1 個）【N2QAYB000302】（➜ 取扱説明書の 6 ページ）	□ リモコン用乾電池（単 3 形：2 個）（➜ 取扱説明書の 6 ページ）

●●お願い●●

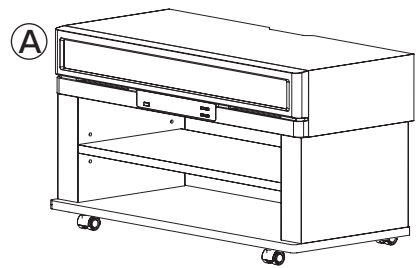
部品・付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
かっこ【　】内は、買い替え時の品番です。（品番は 2008 年 6 月現在のものです。品番は変更されることがあります。）

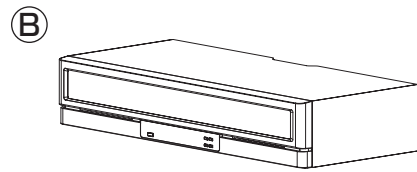
● 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。 また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

RQT9254-MS
H0608TY2088

ラックの組み立てについて

本システムは、Ⓐの状態が基本ですが、本体脚を使用しないⒷの状態でも使用できます。

本体脚を使用しない場合（➔ 5 ページ）

●組み立て途中での使用はしないでください。
●使用しない部材は適切に処理してください。

ラックの組み立て

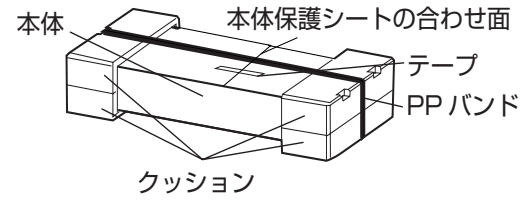
● 組み立てには、作業スペースが必要ですので、ご注意ください。

- ■ 組み立て作業は 2 人以上で行ってください。
- ■ ラックの組み立ては、床が傷つかないよう、本体保護シートの上で行ってください。
- ■ ねじのサイズ（M5）に適合したプラスドライバーを用意してください。（過大な力の加わる建築工事用取っ手付きドライバーなどは使用しないでください。ねじ / ナットが破損することがあります。）
- ■ 接着剤は使用しないでください。使用すると後で修理できなくなることがあります。
- ■ 畳や毛足の長いじゅうたんなどの上に設置する場合は、キャスターを取り付けないでください。
- ■ 組み立て時に、前面のスピーカーネット部に力を加えないでください。

ステップ 1 準備する

1 本体を上下逆さにして本体保護シートの合わせ面が上にくるように置く。

2 PP バンドをはさみで切り、クッションを取り外す。

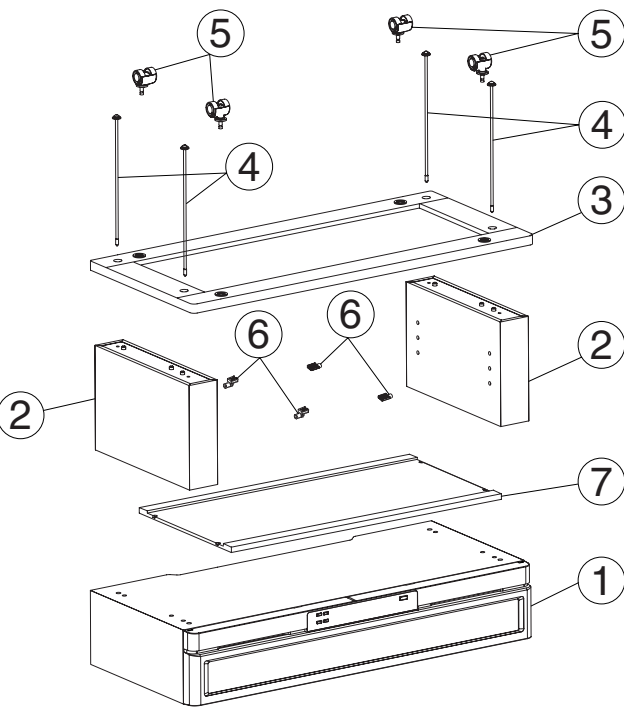
3 テープをはがし本体保護シートを本体に敷いたまま広げる。
（床の傷付防止の為、敷いたまま組み立ててください。）

準備するもの

・プラスドライバー（ねじのサイズ（M5）に適合したもの）
・組み立て用部品、下記①～⑦

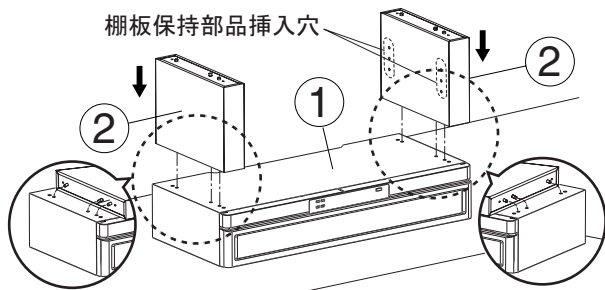
- □ ①本体（1 台）
- □ ②本体脚（2 個）（左右）
- □ ③底板（1 枚）
- □ ④本体固定ねじ（4 本）
- □ ⑤キャスター（4 個）
- □ ⑥棚板保持部品（4 個）
- □ ⑦棚板（1 枚）

組み立て後に、部品が余っていないかをご確認ください。

◯◯お知らせ◯◯
Ⓐでは本体セット足は使用しません。

本システムのイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

ステップ 2 組み立てる

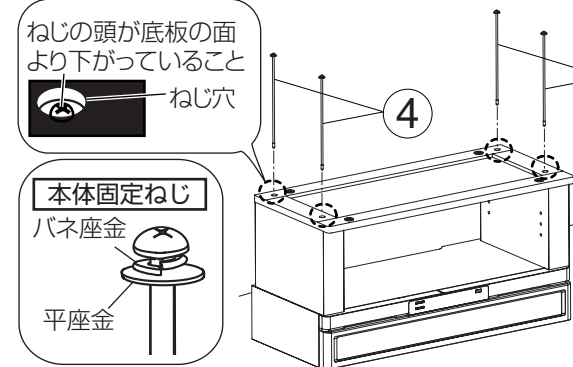
1 本体脚の仮取り付け

本体①の穴と本体脚②（2 個）に取り付けられたダボ（丸棒）位置とを合わせ確実に挿入する。（棚板保持部品挿入穴が内側向きになっていること。）
●本体脚②は左右共用なので、向きにご注意ください。
●本体脚の下に指をはさまないようにご注意ください。

◯◯お知らせ◯◯
本体に本体セット足を貼らないでください。

2 底板の仮取り付け

本体脚に取り付けられたダボ（丸棒）位置と底板③の穴とを合わせ確実に挿入する。
●底板の下に指をはさまないようにご注意ください。

3 本体固定ねじで固定する

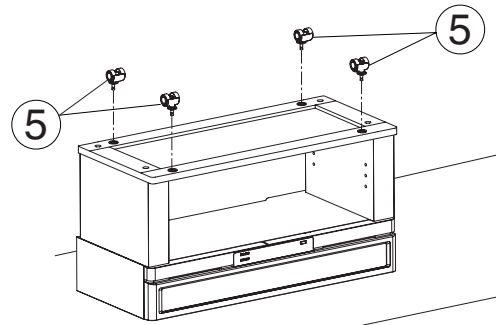
1. 本体固定ねじにバネ座金、平座金が付いていることを確認する。
2. 底板のねじ穴に本体固定ねじ④（4 本）を挿入する。
3. ドライバーで本体固定ねじ④（4 本）を一旦軽く締め、再度 4 本全てをしっかりと締め付ける。
●ねじの頭が底板の面より下がっていることを確認する。
4. 本体固定ねじ 4 本が締められていることを確認する。（締め付けが不十分な場合、台がぐらつきテレビが転倒する場合があります。）
5. 隙間、ぐらつきがないことを確認する。（ぐらつきがある場合は、異物等のかみ込みがないことを確認して再度本体固定ねじを締めなおしてください。）

4 キャスターを取り付ける

◯◯ご注意◯◯
畳や毛足の長いじゅうたんなどの上に設置する場合は、キャスターを取り付けないでください。

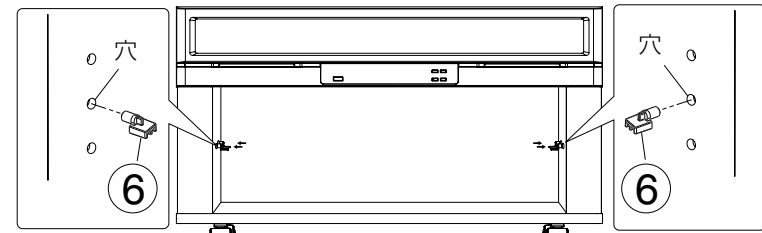
1. キャスター⑤（4 個）を奥まで挿入する。
2. 軽く引っ張って抜けないことを確認する。
3. キャスター⑤が 4 箇所挿入されていることを確認する。
●棚板保持部品⑥（4 個）と棚板⑦（1 枚）以外の組み立て用部品が余っていないことを確認してください。
（➔ 2 ページの □ 内にチェックする）

5 ラックを起こす

1. 底板で床が傷つかないように、底板保護シート（底板を包んでいたシート）を図の位置に敷く。
2. 本体保護シートの上でラックをゆっくりと後方に寝かす。（前方へは寝かさないでください）
3. キャスターが滑らないようにラックをゆっくりと起こす。
●必ず 2 人以上で行ってください。
●ラックの下に指をはさまないようにご注意ください。

底板保護シートを敷く
後方に寝かす
スピーカーネット部を持たないでください。
本体保護シート
底板保護シート
スピーカーネット部を持たないでください。
引き起こす
本体保護シート
底板保護シート

6 棚板の取り付け

1. 棚板保持部品⑥（4 個）を右の図のように左右の本体脚の内面の中段の穴へ挿入する。

穴
6
穴
6

2. 棚板⑦を取り付けた棚板保持部品⑥の上に棚板の溝が合うように固定する。
●棚板の取り付け位置は、収納する機器の設置時に、機器に合わせて高さを変更してください。（➔ 取扱説明書の 8 ページ）

●組み立て途中での使用はしないでください。

完成図

RQT9254